

※本文内の()内の数値は志願者数の前年度確定数との対比指数を表します。

◎医学部医学科志願状況

□前期はやや減少、後期は廃止もあり大幅減少

〔設置・日程別志願状況〕

		2026年度	増減数	指数	2025年度	2024年度	2023年度	2022年度	2021年度	2020年度	2019年度	2018年度	2017年度
募集人員	前期	3,524	-28	99	3,552	3,587	3,593	3,636	3,604	3,597	3,644	3,676	3,699
	後期	314	-32	91	346	351	351	363	408	454	524	539	541
	合計	3,838	-60	98	3,898	3,938	3,944	3,999	4,012	4,051	4,168	4,215	4,240
志願者数	前期	14,520	-787	95	15,307	16,222	15,960	15,087	14,773	14,742	16,390	17,064	18,093
	後期	5,283	-1,369	79	6,652	7,063	7,550	7,255	7,110	7,404	9,081	8,969	9,927
	合計	19,803	-2,156	90	21,959	23,285	23,510	22,342	21,883	22,146	25,471	26,033	28,020
志願倍率	前期	4.12			4.31	4.52	4.44	4.15	4.10	4.10	4.50	4.64	4.89
	後期	16.82			19.23	20.12	21.51	19.99	17.43	16.31	17.33	16.64	18.35
	合計	5.16			5.63	5.91	5.96	5.59	5.45	5.47	6.11	6.18	6.61

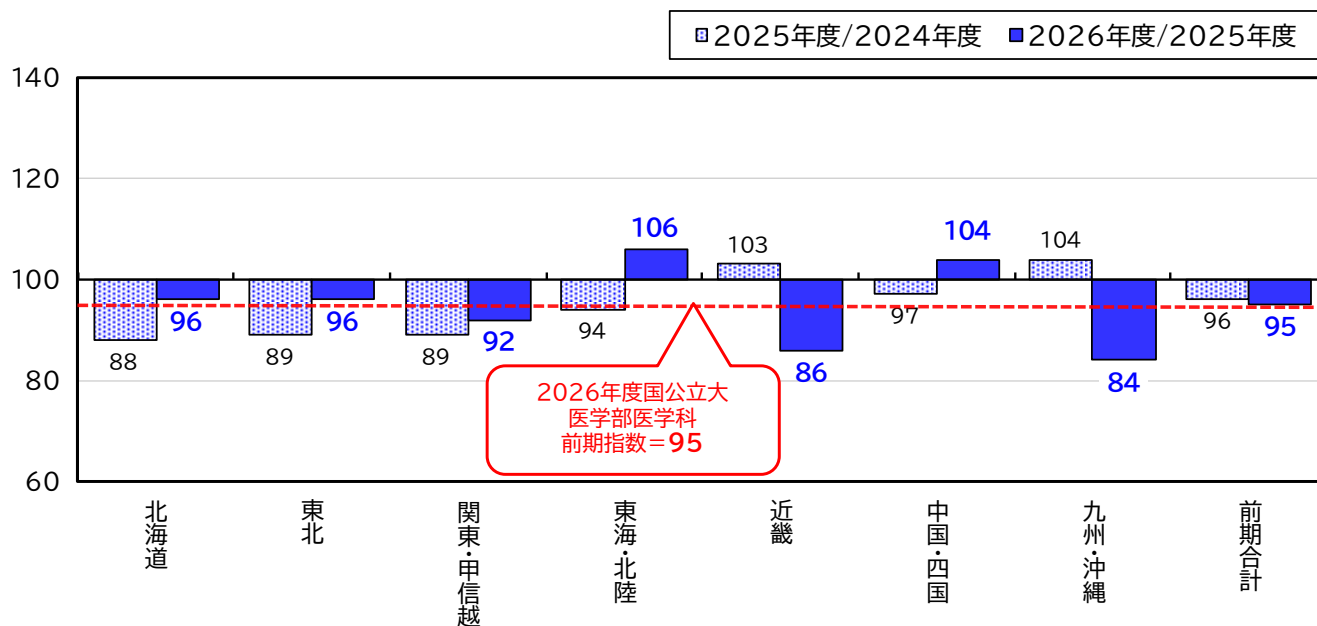
医学部医学科(以下「医学科」)一般選抜全体の志願者数は、コロナ禍による医学への関心の高まりにより、2022年度、2023年度は2年連続増加しました。コロナ禍の落ち着きとともに、2024年度から志願者数は減少し、2026年度は2,156人(90)の減少と3年連続減少となり、志願者数は2万人を下回りました。

日程別では、前期は787人(95)のやや減少で、2年連続減少しました。後期は、旭川医科大、山形大、佐賀大の廃止もあり、募集人員は32人減少(募集人員指数91)、志願者数は1,369人(79)の大幅減少で、3年連続減少しました。この結果、志願倍率は前期が4.31倍→4.03倍、後期は19.23倍→16.82倍といずれもダウンとなりました。

□前期の地区別では東海・北陸がやや増加、九州・沖縄は大幅減少

〔地区別志願者指数〕

<前期日程>



前期合計では787人(95)のやや減少でした。地区別では、東海・北陸(106)、中国・四国(104)がやや増加しましたが、その他の地区は全て減少で、九州・沖縄(84)は大幅減少、近畿(86)、関東・甲信越(92)は減少、北海道(96)、東北(96)はやや減少でした。

○北海道(96)

旭川医科大(186)は前年度大幅減少の反動と後期廃止に伴う募集人員増加もあり大幅増加。一方で、北海道大(77)は大幅減少。札幌医科大(72)も大幅減少で3年連続減少。

○東北(96)

福島県立医科大(218)は前年度大幅減少の反動で 2.2 倍近い増加。東北大(135)も前年度大幅減少の反動で大幅増加。一方で、弘前大(63)は大幅減少で、志願者数は4年ぶりに 400 人を下回った。山形大(73)、秋田大(85)はいずれも前年度大幅増加の反動で大幅減少。

○関東・甲信越(92)

新潟大(115)は大幅増加。信州大(111)は前年度大幅減少の反動で増加。一方で、群馬大(49)は2年連続増加の反動でほぼ半減、志願者数は5年ぶりに 200 人を下回った。横浜市立大(81)、東京科学大(83)はいずれも大幅減少。

○東海・北陸(106)

福井大(240)は前年度大幅減少の反動で 2.4 倍の激増で、志願者数は 500 人を上回った。岐阜大(153)、金沢大(134)はいずれも前年度大幅減少の反動で大幅増加。浜松医科大(120)も大幅増加で2年連続増加。三重大(111)は増加だが、志願者数は2年連続 300 人を下回った。

○近畿(86)

京都府立医科大(116)は2年連続減少の反動で大幅増加。一方で、和歌山県立医科大(61)は大幅減少。滋賀医科大(70)は2年連続大幅増加の反動で大幅減少。神戸大(85)は3年連続増加の反動で大幅減少。

○中国・四国(104)

山口大(221)、島根大(125)はいずれも2年連続大幅減少の反動で大幅増加。山口大(221)は9年ぶりに志願者数が 400 人を上回った。香川大(115)は前年度大幅減少の反動で大幅増加。一方で、徳島大(67)、広島大(77)はいずれも前年度大幅増加の反動で大幅減少。

○九州・沖縄(84)

佐賀大(117)は2年連続大幅増加。一方で、宮崎大(32)は前年度大幅増加の反動で、ほぼ1/3の激減となり、志願者数は 150 人を下回った。熊本大(67)は2年連続増加の反動で大幅減少。鹿児島大(70)は前年度大幅増加の反動で大幅減少。

<後期日程>

後期合計では 1,369 人(79)の大幅減少。後期募集を廃止した旭川医科大、山形大、佐賀大を除くと、781 人(87)の減少でした。

地区別では、1大学のみでの募集である地区では、東北(30)は山形大の廃止のため激減。山形大を除く秋田大(39)のみでも前年度 1.6 倍以上の反動で激減。近畿(111)は奈良県立医科大のみで2年連続増加。中国・四国(55)は山口大のみで前年度 1.8 倍以上の反動で大幅減少。複数大学の募集がある3地区は、九州・沖縄(74)は大幅減少。後期廃止の佐賀大を除いても(84)の大幅減少。関東・甲信越(97)はやや減少。東海・北陸(98)は微減。

○関東・甲信越(97)

全ての大学が減少。東京科学大(86)は3年連続減少で、志願者数は 150 人を下回った。千葉大(96)はやや減少で3年連続減少。山梨大(98)は微減で2年連続減少。

○東海・北陸(98)

福井大(114)は前年度大幅減少の反動で増加で、2018 年度以降前年度の反動による大幅増減が継続。一方で、三重大(69)は大幅減少で2年連続減少。志願者数は6年ぶりに 150 人を下回った。名古屋大(72)は大幅減少で2年連続減少。

○九州・沖縄(74)

宮崎大(187)は2年連続大幅減少の反動で激増。志願者数は3年ぶりに 400 人を上回った。一方で、鹿児島大(79)は2年連続増加の反動で大幅減少。琉球大(41)は大幅減少で3年連続減少し、志願者数は 11 年ぶりに 300 人を下回った。

〔大学別志願状況〕

地区	大学	日程	方式	配点		志願者数増減		2026年度		2025年度		志願倍率			コメント
				共テ	個別	増減数	指数	募集人員	志願者数	募集人員	志願者数	2026年度	2025年度	2024年度	
北海道	旭川医科大	前		570	350	+126	186	48	273	40	147	5.7	3.7	5.6	<変更点> 募集人員:40人⇒48人 後期日程廃止に伴う募集人員増もあり、志願者数は大幅増加で3年ぶりに増加。志願倍率も3.7倍→5.7倍にアップ。2段階選抜が実施され、第1段階選抜の合格率は70.3%だった。
		後								8	232		29.0	37.1	<変更点> 後期日程廃止
	北海道大	前		315	525	-69	77	87	229	89	298	2.6	3.3	3.3	<変更点> <共テ>情報を配点化 大幅減少で志願者数は4年連続300人を下回った。志願倍率も3.3倍→2.6倍にダウン。
	札幌医科大	前		750	800	-85	72	20	39	20	299	2.0	4.0	2.9	<変更点> 名称変更:先進研修連携枠⇒札幌大卒後研修枠 大幅減少で3年連続減少。志願倍率も4.0倍→2.9倍にダウン。
		札幌大卒後 研修枠						55	175	55		3.2		4.9	
東北	弘前大	前		1050	900	-162	65	50	296	50	458	5.9	9.2	7.4	<変更点> 第1段階選抜基準変更:8倍⇒6倍 第1段階選抜基準の変更もあり、青森県定着枠は、2年連続大幅減少。一般枠は4年連続増加の反動で大幅減少で、志願者数は4年ぶりに300人を下回った。
		青森県定着 枠				-67	59	20	95	20	162	4.8	8.1	9.9	
	東北大	前		550	2200	+80	135	78	311	78	231	4.0	3.0	3.8	前年度大幅減少の反動で大幅増加。志願者数は7年ぶりに300人を上回った。2段階選抜が実施され、第1段階選抜の合格率は87.8%だった。
	秋田大	前		600	400	-48	85	45	266	45	314	5.9	7.0	4.7	3年連続増加の反動で大幅減少。志願倍率も7.0倍→5.9倍にダウン。2段階選抜が実施され、第1段階選抜の合格率は85.0%だった。
		後		750	300	-423	35	20	230	20	653	11.5	32.7	18.5	一般枠は前年度激増の反動で激減。志願倍率は32.7倍⇒11.5倍に大幅ダウン。2段階選抜が実施され、第1段階選抜の合格率は87.4%だった。秋田県地域枠はやや増加。
		山形大	前		950	700	-107	69	65	241	60	348	3.7	5.8	4.8
地域枠						+7	126	8	34	8	27	4.3	3.4	4.3	
		後								15	186		12.4	21.2	<変更点> 後期日程廃止
福島県立医科大	前		700	660	+194	247	45	326	45	132	7.2	2.9	9.0	一般枠は前年度激減の反動で2.5倍近い激増、志願倍率も2.9倍⇒7.2倍にアップ。地域枠も大幅増加で、志願倍率も2.4倍⇒3.7倍にアップ。医学科全体で志願者数は400人を上回り、2段階選抜が実施され、第1段階選抜の合格率は75.7%だった。	
	地域枠				+33	155	25	93	25	60	3.7	2.4	3.8		
関東・甲信越	筑波大	前		950	1400	-20	87	45	137	48	157	3.0	3.3	3.9	一般枠は2年連続減少。志願倍率は3.3倍⇒3.0倍にダウン。2段階選抜が実施され、第1段階選抜の合格率は82.5%だった。地域枠は前年度大幅減少の反動で大幅増加。志願倍率も3.2倍⇒5.4倍にアップ。
		地域枠(茨城県内対象)				+29	171	8	70	8	32	5.4	4.0	7.0	
	地域枠(全国対象)						5		5	9		1.8	1.8		
	群馬大	前		475	450	-192	44	65	149	65	341	2.3	5.2	4.4	一般枠は2年連続増加の反動で半減以下。志願倍率も5.2倍⇒2.3倍にダウン。地域医療枠は3年連続同じ志願者数。
		地域医療枠			±0	100	8	33	8	33	4.1	4.1	5.5		
千葉大	前		475	1000	+67	128	82	305	82	238	3.7	2.9	3.8	<変更点> 募集人員:<千葉県地域枠>20人⇒10人 一般枠は前年度大幅減少の反動で大幅増加。地域枠は募集人員の減少もあり、大幅減少で2年連続減少。志願倍率は4.3倍⇒4.0倍⇒3.3倍にダウン。2段階選抜が実施され、第1段階選抜の合格率は一般枠が80.7%、地域枠が90.9%だった。	
		千葉県地域 枠				-46	42	10	33	20	79	3.3	4.0	4.3	
	後		475	1000	-14	96	15	343	15	357	22.9	23.8	24.7	3年連続減少。志願者数は11年ぶりに350人を下回った。2段階選抜が実施され、第1段階選抜の合格率は83.4%だった。	
東京大	前		110	440	-11	97	97	377	97	388	3.9	4.0	4.3	<変更点> 第1段階選抜基準変更:約3.0倍⇒約2.8倍 やや減少で4年連続減少。志願者数は2年連続で400人を下回った。第1段階選抜基準の変更もあり、2段階選抜が実施され、合格率は72.1%だった。	
東京科学大	前		180	360	-51	83	69	251	69	302	3.6	4.4	4.3	大幅減少。志願倍率は4.4倍⇒3.6倍にダウン。	
	後		500	200	-22	86	10	140	10	162	14.0	16.2	17.3	3年連続減少で、志願者数は150人を下回った。志願倍率は16.2倍⇒14.0倍にダウン。	

2026 年度入試状況分析【国公立大】

地区	大学	日程	方式	配点		志願者数増減		2026年度		2025年度		志願倍率			コメント
				共テ	個別	増減数	指数	募集人員	志願者数	募集人員	志願者数	2026年度	2025年度	2024年度	
関東・甲信越	横浜市立大	前		1000	1400	-53	81	58	231	58	284	3.3	4.1	3.6	医学科全体で2年連続増加の反動で大幅減少。2段階選抜が実施され、第1段階選抜の合格率は88.3%だった。
			地域医療枠					9		9					
			神奈川県指定診療科枠					3		3					
	新潟大	前		800	1200	+48	115	80	367	80	319	4.6	4.0	4.6	
	山梨大	後		1000	2300	-25	98	90	1320	90	1345	14.7	14.9	19.6	前年度大幅減少に引き続き減少。2段階選抜が実施され、第1段階選抜の合格率は69.2%だった。
	信州大	前		500	600	+31	111	85	307	85	276	3.6	3.2	5.2	前年度大幅減少の反動で増加。志願倍率も3.2倍→3.6倍にアップ。
東海・北陸	富山大	前		1000	700	-357	36	68	205	70	562	3.0	8.0	3.2	<変更点> 募集人員:70人⇒68人 前年度激増の反動で激減。前年度の反動による極端な増減が継続。
	金沢大	前		950	2100	+81	134	79	319	80	238	4.0	3.0	4.0	<変更点> 募集人員:80人⇒79人 前年度大幅減少の反動で大幅増加。志願倍率も3.0倍→4.0倍にアップ。2段階選抜が実施され、第1段階選抜の合格率は74.3%だった。
	福井大	前		1000	700	+293	240	55	503	55	210	9.1	3.8	4.8	前年度大幅減少の反動で2.4倍の激増。前年度の反動による極端な増減が継続。志願倍率も3.8倍→9.1倍に大幅アップ。2段階選抜が実施され、第1段階選抜の合格率は54.7%だった。
		後		500	220	+62	114	25	503	25	441	20.1	17.6	24.0	前年度大幅減少の反動で増加。2段階選抜が実施され、第1段階選抜の合格率は69.0%だった。
	岐阜大	前		950	1200	+82	153	55	238	55	156	4.3	2.8	3.7	2年連続大幅減少の反動で大幅増加。志願倍率も2.8倍→4.3倍とアップ。2段階選抜が実施され、第1段階選抜の合格率は69.3%だった。
	浜松医科大	前		475	700	+82	124	69	422	69	340	6.1	4.9	4.4	<変更点> 募集人員:<地域枠>6人⇒2人 一般枠は大幅増加で2年連続増加。地域枠は募集人員の減少と前年度大幅増加の反動もあり大幅減少。2段階選抜が実施され、第1段階選抜の合格率は69.0%だった。
			地域枠					-9	59	2	13	6	22	6.5	3.7
		後		950	350	+2	101	14	216	14	201	15.4	14.4	15.4	<変更点> 後期日程<地域枠>廃止 志願者数は前年度並で、3年連続200人台。
	名古屋大	前		950	1800	-14	94	86	239	86	253	2.8	2.9	3.0	一般枠はやや減少。地域枠は大幅増加。2段階選抜が実施され、第1段階選抜の合格率は93.7%だった。
			地域枠					+3	125	5	15	5	12	3.0	2.4
後			950	0	-23	72	5	60	5	83	12.0	16.6	18.0	大幅減少で2年連続減少。志願倍率も16.6倍→12.0倍にダウン。	
三重大	前		650	700	+28	111	75	277	70	249	3.7	3.3	8.0	前年度激減の反動で増加。志願倍率も3.3倍→3.7倍にアップ。	
	後	三重県地域医療枠		650	300	-63	69	10	141	10	204	14.1	20.4	22.9	大幅減少で2年連続減少。志願倍率も20.4倍→14.1倍にダウン。
名古屋市立大	前		600	1200	-59	71	60	148	60	207	2.5	3.5	3.0	<変更点> 第1段階選抜基準変更: 「総配点600点中の概ね74%以上の者を対象に募集人員の約3倍」を25/1/22に「総配点600点中450点以上(75%以上)の者を対象に約3倍」に変更→「総配点600点中の概ね75%以上の者を対象に募集人員の約3倍」を26/1/21に「総配点600点中438点以上(73%以上)の者を対象に約3倍」に変更 前年度増加の反動で大幅減少。志願者数は150人を下回った。2段階選抜が実施され、第1段階選抜の合格率は94.6%だった。	
近畿	滋賀医科大	前		650	600	-116	70	55	233	55	389	4.2	6.5	4.4	2年連続大幅増加の反動で大幅減少。医学科全体では志願倍率は6.5倍→4.6倍にダウン。
			地域医療枠					5	40	5	8.0	5.3			
	京都大	前		275	1000	-34	89	103	267	105	301	2.6	2.9	2.7	志願者数は減少。2段階選抜が実施され、第1段階選抜の合格率は95.1%だった。
	大阪大	前		500	1500	-20	93	93	249	93	269	2.7	2.9	2.8	2年連続増加の反動は小さくやや減少。志願倍率は2.9倍→2.7倍にダウン。
神戸大	前		380	480	-46	85	93	253	93	299	2.7	3.2	3.0	3年連続増加の反動で大幅減少。志願倍率は3.2倍→2.7倍にダウン。	

2026年度入試状況分析【国公立大】

地区	大学	日程	方式	配点		志願者数増減		2026年度		2025年度		志願倍率			コメント					
				共テ	個別	増減数	指数	募集人員	志願者数	募集人員	志願者数	2026年度	2025年度	2024年度						
近畿	京都府立医科大	前		500	600	+42	116	93	309	99	267	3.3	2.7	2.9	<変更点> 募集人員:99人⇒93人 2年連続減少の反動で大幅増加。2段階選抜が実施され、第1段階選抜の合格率は90.6%だった。					
	大阪公立大	前		675	900	+16	108	75	212	75	196	2.8	2.5	3.4	<変更点> 募集人員:<大阪府指定医療枠>2人⇒1人 前年度大幅減少の反動で増加。2段階選抜が実施され、第1段階選抜の合格率は94.3%だった。					
			1						2											
	奈良県立医科大	前		900	100	±0	100	22	48	22	48	2.2	2.2	2.6	志願者数は前年度と同数で、募集人員が22人になった2013年度以降2年連続最少。					
		後		300	900	+104	111	53	1085	53	981	20.5	18.5	16.9	<変更点> 第1段階選抜基準変更:14倍⇒12倍 2年連続増加。志願者数は4年ぶりに1,000人を上回った。2段階選抜が実施され、第1段階選抜基準の変更もあり、合格率は58.9%だった。					
和歌山県立医科大	前		600	700	-99	64	64	179	64	278	2.8	4.3	4.4	大幅減少。医学科全体で志願倍率は4.5倍⇒2.8倍にダウン。2段階選抜が実施され、第1段階選抜の合格率は一般枠が91.6%、県民医療枠が83.3%だった。						
							-33	48	10	25	10	63	2.5		5.3	4.1				
		県民医療枠A							2	5	2		2.5			8.5				
鳥取大	前		920	700	+53	114	53	436	58	383	5.6	4.9	2.5	<変更点> とっとり医療人養成枠新設:募集人員7人 募集人員:<一般枠>58人⇒53人 <鳥取県枠>13人⇒11人 2年連続増加。志願倍率も2.5倍⇒4.9倍⇒5.6倍にアップ。2段階選抜が実施され、第1段階選抜の合格率は93.3%だった。						
		鳥取県枠						11		13										
		兵庫県枠						2		2										
		島根県枠						5		5										
		とっとり医療人養成枠						7												
島根大	前		930	720	+64	120	55	384	55	320	7.0	5.8	8.2	<変更点> <共テ> 国<200>+歴公<100>+数2<100> +理2<200>+外<100>+情<30> =総点<730> ⇒国<250>+歴公<100>+数2<100> +理2<350>+外<100>+情<30> =総点<930> <個> 数<200>+外<200>+面<60> =総点<460> ⇒数<300>+外<300>+面<120> =総点<720> 2年連続大幅減少の反動で大幅増加。志願倍率も5.9倍⇒7.4倍にアップ。						
		県内定着枠						+22	192	3	46	3	24		15.3	8.0	12.0			
中国	岡山大	前		550	1100	-37	89	95	298	94	335	3.1	3.6	3.1	<変更点> 選抜方法: 英語外部試験の成績が基準点以上の場合、共テと個別の外の成績を満点とみなす ⇒英語外部試験の成績が基準点以上の場合、共テの外の成績を満点とみなす 募集人員:94人⇒95人 第1段階選抜基準:約3倍 ⇒共通テストの配点550点中374点以上かつ約3倍 2年連続増加の反動で減少。志願倍率も3.6倍⇒3.1倍にダウン。2段階選抜が実施され、第1段階選抜の合格率は93.0%だった。					
	広島大	前		1000	1800	-111	77	90	376	92	487	4.2	5.3	4.4	<変更点> 募集人員:92人⇒90人 前年度大幅増加の反動で大幅減少。志願倍率も5.3倍⇒4.2倍にダウン。					
	山口大	前		950	600	+247	221	55	451	55	204	8.2	3.7	5.9	2年連続大幅減少の反動で2.2倍。志願倍率も3.7倍⇒8.2倍にアップ。2段階選抜が実施され、第1段階選抜の合格率は85.1%だった。					
後			950	500	-202	55	7	243	7	445	24.3	44.5	24.4	前年度大幅増加の反動で大幅減少。志願倍率も44.5倍⇒24.3倍に大幅ダウン。2段階選抜が実施され、第1段階選抜の合格率は61.7%だった。						
															地域枠		3		3	

2026 年度入試状況分析【国公立大】

地区	大学	日程	方式	配点		志願者数増減		2026年度		2025年度		志願倍率			コメント
				共テ	個別	増減数	指数	募集人員	志願者数	募集人員	志願者数	2026年度	2025年度	2024年度	
四国	徳島大	前		900	400	-73	67	61	151	61	224	2.5	3.7	2.4	前年度大幅増加の反動で大幅減少。前年度の反動による増減が継続。2段階選抜が実施され、第1段階選抜の合格率は96.0%だった。
	香川大	前		700	700	+49	115	67	372	67	323	4.9	4.3	5.2	前年度大幅減少の反動で大幅増加。前年度の反動による増減が継続。2段階選抜が実施され、第1段階選抜の合格率は81.7%だった。
		地域枠						9	9						
	愛媛大	前		500	700	-45	91	55	471	55	516	8.6	9.4	10.3	2年連続減少。志願倍率も10.3倍→9.4倍→8.6倍にダウン。2段階選抜が実施され、第1段階選抜の合格率は70.1%だった。
高知大	前		950	1000	-38	89	54	322	54	334	5.5	6.2	7.8	2年連続減少。志願倍率も7.4倍→6.1倍→5.5倍にダウン。2段階選抜が実施され、第1段階選抜の合格率は89.8%だった。	
	地域枠						5	5	26	5.2	3.2				
九州・沖縄	九州大	前		475	700	-28	89	105	224	105	252	2.1	2.4	2.5	4年連続減少。志願倍率も2.5倍→2.4倍→2.1倍にダウン。
	佐賀大	前		640	300	+40	117	51	278	50	238	5.5	4.8	3.7	<変更点> <共テ>国+歴公+数2+理2+外+情 (※理2:物+化) ⇒国+歴公+数2+理2+外+情 ※理2:(物・化・生)→2 募集人員:50人⇒51人 2年連続大幅増加。志願倍率は3.7倍→4.8倍→5.5倍にアップ。
		後							4	170		42.5	22.3	<変更点> 後期日程廃止	
	長崎大	前		465	890	+55	112	66	501	76	446	7.6	5.9	7.7	<変更点> 募集人員:76人⇒66人 第1段階選抜基準:約5倍⇒約5.5倍 <個> (面orペーパー・インタビュー)<60> ⇒(面orペーパー・インタビュー)<150> 前年度大幅減少の反動で増加。2段階選抜が実施され、第1段階選抜の合格率は72.7%だった。
	熊本大	前		500	800	-152	67	86	315	86	467	3.7	5.4	5.0	<変更点> <共テ>国<100>+歴公<50>+数2<50> +理2<100>+外<100>+情<50> =総点<450> ⇒国<100>+歴公<50>+数2<100> +理2<100>+外<100>+情<50> =総点<500> 2年連続増加の反動で大幅減少。志願倍率も5.4倍→3.7倍にダウン。
	大分大	前		500	550	+31	111	55	316	55	285	4.9	4.4	5.6	前年度大幅減少の反動で増加。2段階選抜が実施され、第1段階選抜の合格率は62.0%だった。
		地元出身者枠		500	550			10	10						
宮崎大	前		1000	600	-261	32	45	121	45	382	2.7	8.5	5.6	前年度増加の反動で激減。2018年度以降前年度の反動による増減が継続。志願倍率も8.5倍→2.7倍に大幅ダウン。	
	後		1000	150	+207	187	15	445	15	238	29.7	15.9	23.3	2年連続大幅減少の反動で激増。志願倍率も15.9倍→29.7倍に大幅アップ。2段階選抜が実施され、第1段階選抜の合格率は75.3%だった。	
鹿児島大	前		925	920	-133	70	69	307	69	440	4.4	6.4	4.3	前年度大幅増加の反動で大幅減少。志願倍率も6.4倍→4.4倍にダウン。	
	後		925	320	-83	79	19	310	21	393	16.3	18.7	16.2	<変更点> 募集人員:21人⇒19人 2年連続増加の反動で大幅減少。2段階選抜が実施され、第1段階選抜の合格率は61.3%だった。	
琉球大	前		1000	800	-14	96	70	314	70	328	4.5	4.7	5.0	3年連続減少。志願倍率は5.0倍→4.7倍→4.5倍にダウン。	
	後		1100	300	-302	41	23	211	25	513	9.2	20.5	20.9	<変更点> 募集人員:25人⇒23人 大幅減少で3年連続減少。志願者数は11年ぶりに300人を下回った。	

2026 年度入試状況分析【国公立大】

〔志願者数が多かった大学〕

前期日程		後期日程	
福井大	503 (55)	山梨大	1320 (90)
長崎大	501 (66)	奈良県立医科大	1085 (53)
愛媛大	471 (55)	福井大	503 (25)
山口大	451 (55)	宮崎大	445 (15)
鳥取大	436 (78)	千葉大	343 (15)

〔志願者数が少なかった大学〕

前期日程		後期日程	
奈良県立医科大	48 (22)	名古屋大	60 (5)
宮崎大	121 (45)	東京科学大	140 (10)
名古屋市立大	148 (60)	三重大	141 (10)
徳島大	151 (61)	琉球大	211 (23)
群馬大	182 (73)	浜松医科大	216 (14)

※()内は募集人員。一般枠と地域枠に分けて志願者数を公表した大学は、日程合計の志願者数を掲載。

〔増加数が多かった大学〕

前期日程		後期日程	
福井大	+293	宮崎大	+207
山口大	+247	奈良県立医科大	+104
福島県立医科大	+227	福井大	+62
旭川医科大	+126	浜松医科大	+2
島根大	+86		

〔減少数が多かった大学〕

前期日程		後期日程	
富山大	-357	秋田大	-422
宮崎大	-261	琉球大	-302
弘前大	-229	山口大	-202
群馬大	-192	鹿児島大	-83
熊本大	-152	三重大	-63

※一般枠と地域枠に分けて志願者数を公表した大学は、日程合計の志願者数で増減を算出。

〔志願倍率が高かった大学〕

前期日程		後期日程	
福井大	9.1	宮崎大	29.7
愛媛大	8.6	山口大	24.3
山口大	8.2	千葉大	22.9
長崎大	7.6	奈良県立医科大	20.5
島根大	7.4	福井大	20.1

〔志願倍率が低かった大学〕

前期日程		後期日程	
九州大	2.1	琉球大	9.2
奈良県立医科大	2.2	秋田大	10.6
名古屋市立大	2.5	名古屋大	12.0
徳島大	2.5	東京科学大	14.0
群馬大	2.5	三重大	14.1

※一般枠と地域枠に分けて志願者数を公表した大学は、日程合計の募集人員、志願者数で算出。